

研究者は研究成果を公表することで科学コミュニケーションを形成していきますが、自然科学分野においては、学術雑誌への論文投稿が最終的な発表形態と考えられています。今号では論文投稿に際して必ず確認しなければならない「投稿規定」を取り上げます。

投稿規定は、1月号もしくは各巻の初号に掲載されることが多く、名称も「Guideline for Authors」、「Instructions to Contributors」、「Manuscript Submission Guidelines」のように様々です。電子投稿が主流となった今、インターネット上で公開されていることも多いのですが、最新版でなかったり、雑誌に掲載されているものと異なっていたりすることがあるので注意が必要です。投稿規定に盛り込まれる内容は、本文や抄録、参考文献の書式、図や写真の提出方法、電子原稿の送付形態、著作権の帰属先、倫理委員会の承認等、多岐にわたります。以下に、本学図書館リンク集からアクセスできる投稿規定関係のサイトをご紹介します。

1978年に欧米の総合医学雑誌編集者がバンクーバーで会議を開き、翌年、統一的な投稿規定についての勧告を発表しました。その後、論文発表をめぐる科学者の不正行為が大きな問題となったことから、多重出版、オーサーシップ、利害の衝突といった出版倫理に関する優れた勧告を次々に出しています。この勧告が「生物医学雑誌に関する統一投稿規定」として知られる国際的な投稿論文作成ルール URM (= Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals) です。Lancet や JAMA を始め、約 700 誌が URM に準拠した投稿規定を採用しています。最初の会議開催地を冠して、通称バンクーバースタイルと呼ばれる URM の原文 (最新版は 2008 年 10 月) および 2007 年 10 月改訂の翻訳にアクセスできます。参考文献の並べ方には著者名順や引用順がありますが、バンクーバースタイルでは後者を採用、書庫で探しやすいよう出版年を誌名のすぐ後に置くのが特長です。他の記述方式を確認したいときは、ワシントン大学の「Style Guides」リンク集 (<http://healthlinks.washington.edu/hsl/styleguides/>) が役に立ちます。

投稿規定を探す場合、国際誌ならトレド大学 (2006 年にオハイオ医科大学と合併) のマルフォード図書館が運営するサイト「Instructions to Authors in the Health Sciences (<http://mulford.utoledo.edu/instr/index.html>)」がお勧めです。3,500 誌を越える生命科学分野の雑誌が ABC 順に提供されており、必要なタイトルをクリックすれば直接投稿規定のページが開きます。国内誌ならサンメディアの「学術雑誌投稿規定集 (<http://www.sunmedia.co.jp/modules/ct7/index.php?id=10>)」をご利用ください。

ちなみに、投稿する雑誌の採用率が気にかかる場所ですが、数値が公開されているものは少なく「BMJ」は 7%、「Annals of internal medicine」は 13%となっています。

図書館トリビア

おもちゃの図書館 子どもだけでなく大人も夢がふくらむような素敵な名前の図書館です。今から 20 年前、障害児が玩具による遊びを通して、広がりある交流を可能とし、社会の一員としてひらかれていくことに資することを目的として、当時、(株)バンダイ創業者山科直治氏が私財を基金として設立した財団がボランティア活動を支援しています。現在おもちゃの図書館は子どもだけの利用に限らず老人施設などにも設置され、全国各地に 500 を越える連絡館があります。岩手県内でも盛岡市立ひまわり学園など 7 館存在します。
(財)日本おもちゃ図書館財団 <http://www.toylib.or.jp/index.html>

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 circ2303@lib.iwate-med.ac.jp まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館